

## 第5回地域主義比較プロジェクト

2005年10月28日  
東京大学社会科学研究所  
大会議室

### 重層化するアジア地域主義：その予備的考察

大庭三枝  
東京理科大学  
[obami@rs.kagu.tus.ac.jp](mailto:obami@rs.kagu.tus.ac.jp)

#### 1. はじめに：アジアにおける地域主義の流れ

地域主義とは何か

広域アジアからの出発：E C A F E

サブ地域への分化→ASEAN, SARRCなど

アジア太平洋地域主義の登場と展開

アジア地域主義の現在：肯定的評価・否定的評価

#### 2. 三層構造：「アジア太平洋」「東アジア」「東南アジア」

「アジア太平洋」は時代遅れか

APECの政治フォーラム化

ARFにおける協調的安全保障の試み

ASEAN+3：事実上の東アジア地域枠組み

通貨協力の実際から見る東アジア地域協力

新宮澤構想→チェンマイ・イニシアティブ

神戸リサーチプロジェクト（ASEM）、ADB I, EMEAP

→アジア債券市場構想

東アジアサミット開催の意義

TAC署名国＝参加国

オーストラリアの参加

ASEAN協力の継続

ヴィジョン2020（1997）→第二ASEAN協和宣言（2003）

経済統合＋ASEANディヴァイドの解消

#### 3. 新たな潮流：さまざまな地域枠組みの登場

「環インド洋」環インド洋協力連合（IOR-ARC）

「ベンガル湾」ベンガル湾多分野技術経済協力（BIMSTEC）

汎「アジア」の復活：アジア協力対話（ACD）

中ロ主導の「アジア」：上海協力機構（SCO）

参加国の多様性

目指す「地域」の多様性

#### 5. さいごに：アジアにおける地域主義を見る視点

重層か、錯綜か

地域主義の活発化を促している志向性  
相対的に自律的な地域メカニズム構築  
繁栄と成長  
地域情勢の安定化  
世界の潮流との関連  
アメリカの「非公式帝国」化とアジアにおける地域主義  
世界の“Legalization”の中のアジア

#### 参考文献

大庭三枝「アジアにおける地域主義の展開」関根政美・山本信人『海域アジア』慶應義塾大学出版会、2004年、11-39ページ。

大庭三枝「東アジアにおける食料安全保障協力の進展」『国際政治』第135号、(2004)24-42ページ。

大庭三枝「通貨・金融協力とFTAにみる日本の東アジア地域形成戦略」山影進編『東アジア地域主義と日本外交』日本国際問題研究所、(2003)153-192ページ。

Goldstein, J, Kahler, M., and Keohane R. O., eds., Legalization and World Politics, MIT Press, 2001.

Takashi Inoguchi and Paul Bacon, “Empire, hierarchy, and hegemony: American grand strategy and the construction of order in the Asia-Pacific” *International Relations of the Asia-Pacific*, Oxford Journals, vol. 5, No. 2, 2005, pp. 117-132.